

ジュネーブモーターショー2018のボルシェ

未来と現在：2台の高性能ドライブコンセプトのワールドプレミア

ジュネーブモーターショー2018の展示ハイライトとして公開されるミッションEクロスツーリスモは、ボルシェによる華麗なスタディモデルで、E-モビリティの近未来を垣間見せます。しかし、現在のモビリティもそれに劣らず魅力的です。最もラジカルな高性能スポーツカーであるニュー911 GT3 RSが、本日、世界初公開されます。

ミッションEクロスツーリスモ：CUVの電撃的スタディモデル

ボルシェ初のクロスオーバーユーティリティビークル（CUV）となるミッションEクロスツーリスモは、エレクトリックスポーツカー、ミッションEのコンセプトに基づきます。このモデルは、ボルシェ特有のスポーツカーデザインとオフロード性能を統合することによって、エレクトリックドライブを含む多数のコンセプトを1台の車に結びつけます。ミッションEクロスツーリスモは、マウテンバイク、サーフィン、あるいはウィンタースポーツなどの冒険心にあふれたレジャーに適しているのと全く同じく、日常走行にも適しています。このモデルの装備は同時に高品質かつ多用途でもあります。ボルシェによるE-モビリティは、ミッションEクロスツーリスモにおいてもまた高い性能を誇ります。最高出力440kW（600PS）を発生し、500 kmを超える航続距離、そしてわずか15分の充電で400kmの走行が可能です。このCUVモデルは、ボルシェの全てのコンセプトカーと同様に、ミッションEの派生能力を実証します。

モータースポーツへの明確な焦点：520PS自然給気エンジンを搭載したニュー911 GT3 RS

ボルシェにとってのジュネーブモーターショーは、伝統的にピットレーンの役割を果たしており、常にここから新しい高性能スポーツカーがスタートラインに向かって進みます。これは2018年にも受け継がれ、ボルシェは、自然吸気エンジンを搭載した最もパワフルな公道仕様のサーキットスポーツカー、911 GT3 RSによってをデビューさせます。総排気量4リッターの水平対向6気筒エンジンは最高出力383kW（520PS）を発生し、最高回転数は9,000rpmにおよびます。リアアクスルステアリングを備えたシャーシも妥協のない精度にチューニングされており、ニューGTモデルの心臓部であるエンジン同様にモータースポーツに直接由来します。広範な回転域で得られる最大トルク、ダウンフォースを最適化する軽量ボディ、そして卓越した横方向のダイナミクスを提供するニュー911 GT3 RSは、ファステストラップを達成するために理想的な車です。

スイス市場：顧客は2017年にスポーツモデルへの好みを継続

ボルシェ スイスAGとそのロートクロイツ本社によるスイス国内の昨年の販売台数は3,621台でした。スイスでは、特にトップエンドのボルシェ モデルへの需要が高く、マカンGTSが最も人気を集めたボルシェ モデルでした。このアルプス地方では、発売以来ボルシェ マカンが最も成功を収めており2017年の販売台数は1,516台でした。スポーツカーについても高性能なGTSモデルが人気を博しており、911カレラ4 GTSクーペとカブリオレ、911 GT3などが顧客を魅了しています。グランツーリスモモデルについては性能志向のハイブリッドテクノロジーが好調です。販売されたパナメーラの35%がプラグインハイブリッドモデルでした。

70年前、まだ新興企業だったボルシェは、7月初めのスイスグランプリの開催直前に最初のボルシェ モデルを発表します。それが、1947年から1948年にかけてフェリー・ボルシェが初代タイプ356として製造したミッドシップエンジンスポーツカーの356-001でした

。この最初のポルシェ プロトタイプと、それに続く5台の市販スポーツカーがスイスに向かいました。そして1年後のジュネーブモーターショーにおいて、このブランドは自動車メーカーとして初めて姿を現しました。